

ふるさととくぢ

6/11 ホタルのタベ in 串



麦わらでホタルがごづくり

目次

- 里山だより・徳地地域協育ネット通信…2P
- とくぢで輝く・じゃげな話…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・図書館だより…5P
- 総合支所情報局
- ふるさとへの軌跡・徳地のバス停探訪…6P



(2022年6月末現在)





表紙の写真から

ほたる案内所 Cafe KOTI



手付かずの自然の中で乱舞する姿をいたるところで見ることが出来るほたるの楽園徳地。

cafe KOTIでは、6月16、17、18日の17～19時30分まで3日間限定で、特別テイクアウトを営業しました。日暮れとともに、子供たちの声も響き「えっ！こんなに若者が？」と思うほど賑わいました。ほたるに限らず桜や紅葉の季節にも開催されるとよいですね。



(取材：徳地づくり達人塾)



やまぐち定住カフェ



6月19日(日)南大門2階研修室で、山口県地域づくり推進課が初めて開催したもので、地域おこし協力隊や移住している方7名と徳地からゲスト等、計17名が参加しました。地域に入る戸惑いや関わり方など、お菓子やお茶をお供にざっくばらんに話しました。今後月1回のペースで開催されます。地域で活躍されるきっかけになるとよいですね。

(取材：徳地づくり達人塾)



ホタルの夕べ in 串

市報や地域広報誌等で参加者を募り、33名の方が参加されました。(スタッフは26名)

開会式のあと早速「ホタルかごづくり」を行いました。指導者から指導を仰ぎながら熱心につくっておられ、かなりレベルの高い作品に仕上がっていらっしゃる方も見受けられました。

作成後、じゃんけん大会を行い、みんなで炊き込みご飯を食べました。その後各自移動しホタル観賞をして無事イベントを終了することができました。(串分館)

令和4年度 徳地地区ふれあいボランティアのお知らせ

ここ2年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各校での実施としていました「ふれあいボランティア」を、今年度は実施する予定です。

10月3日(月)14:00～15:00、各小学校区で実施の予定としており、詳しい実施内容は9月の回覧にてお伝えいたします。

「ふれあいボランティア」は、地域の方々と一緒に清掃活動を行うもので、地域と学校の貴重な交流の機会となっておりますので、地域の皆様のご参加をお待ちいたしております。

今回は、昨年度の柚野木小学校での環境整備作業と徳地中学校の校内清掃の様子をご紹介します。



地域の方々とグラウンドを整備しました。(柚野木小)



校内や周辺の清掃活動しました。(徳地中)

徳地地域協育ネット通信

みんな大好き
ふるさと徳地



とくで輝く

未来のプロ棋士を 徳地から

とくで年輪の会 囲碁将棋クラブ



■老若男女を問わず
堀にある「あったかプラザ」では、毎月第一、第三水曜日の2回、囲碁将棋をする集まりがあります。今回は、第一水曜日におじゃましました。建物に入ると、楽しそうな話し声に混ざって、パチツという駒を指す音が聞こえてきました。



現在メンバーは16名。4年前、徳地中学校に将棋クラブができたときに、講師として参加したのも、ここで将棋を打っていたメンバーです。16人のメンバーのうち、5人の中学生も活動に参加しています。5台の長机には合計6枚の将棋盤が並べられ、白熱した対局が繰り広げられていました。

とくで年輪の会の若手委員 長 山本茂術さんは、何といても奥が深いことが魅力だと語ってくれました。「数えきれないほど対局しているけど、同じ場面はおとずれない。同じ将棋盤、同じ駒を使っているのに、プロとアマチュアでは圧倒的な差があつて、

■飽くなき奥深さ

将棋についてのお話、藤井聡太さんが宇部で史上最年少四冠を獲得した時のことをお話しする様子を見て、皆さん本当に将棋が好きなんだと伝わってきました。そんな将棋を愛する方々に、将棋の魅力について聞きました。

自分の知らない将棋がまだある。「好きなことで頭を使ったり、指先を使うことでポケ防止になるのも魅力の一つです。すよね。

■広がる将棋の輪

「87年間生きてきたけど、私より将棋が好きな人に残念ながら出会ったことがない。」と語る守矢明さん。私より将棋が好きなお人に出会いたいと思いを語ってくれました。少しでも興味がある方は、



(取材：河上特派員)

あつたかプラザを覗いてみてください。初心者の方も大歓迎です！将棋を通して輪が広がっている今、徳地からプロ棋士が生まれる日も近い！のかもかもしれません。

徳地周辺の鉄道物語 ～三田尻駅、小郡駅、山口駅、堀駅の関係～



◆小郡文化資料館に行ってきました。

こないだの、何人かで新山口駅から小郡文化資料館やら旧桂ヶ谷貯水池堰堤やらを巡るツアーに参加したんじや。蒸気機関車の水を確保するために堰堤を作ったんじやげな、それに三田尻駅と小郡駅の転車台争いの話がぶちおもしろかったの。

◆三田尻駅と小郡駅の転車台争い

新山口駅周辺にDし機関車が放射状に並ぶ転車台があるのをご存じですか。山陽線が三田尻から小郡に延伸する際に山口回りで行く案を地元の旅館組合に反対され、小郡に直接つないだとか。また、機関車などの向きを変えるための転車台を三田尻駅か小郡駅かのどちらに作るかで争ったんだそうです。あまり語られませんが、もしかしたら、これも山口線と防石鉄道のどちらを延伸して山陰益田駅につながるかの運命を決めた理由の一つになったのかもかもしれませんね。



旧三田尻駅の近くに今も残る防石鉄道の機関車

◆防石鉄道をジオラマで・・・

防石鉄道堀駅周辺のジオラマを作ろうとゆう佐波分校の1年生3人がおつてのお。8月に大会に応募するんじやげな。たまげるじやろうが。懐かしの防石鉄道と堀駅周辺が、ジオラマになって残ったら嬉しいのお。高校生つちゅうなあゝぶちおもしろいこと考えるのお。

(執筆：池田特派員)

行政だより

原木しいたけ栽培研修生の募集

椎茸の栽培方法を実際に体験しながら学びます。
農閑期の副業として椎茸栽培を取り入れてみませんか。

- ◎日時 8月28日(日)～3月 計5回程度(予定)
- ◎場所 市有林 他
- ◎定員 5名程度(要申込)
- ◎参加費 無料(別途種駒代)
- ◎内容 ①原木椎茸栽培について(座学)
②原木づくり、植菌、伏せ込み 他
- ◎対象 原則、すべての研修会に出席できる方

申込先・問合せ先

徳地総合支所 農林課 森林活用・セラピー担当

☎52-1122 FAX52-1301

おめでとうございます



令和4年度 山口市交通安全功労者表彰

令和4年5月24日に山口市交通安全功労者表彰式が行われ、徳地地域から「出雲地区婦人会」が表彰されましたのでご紹介します。

多年にわたり、高齢者や子どもの交通事故防止と犯罪被害の防止が明るい地域の基盤であるとの認識のもと、交通安全運動を推進され、その功績が称えられました。

森林セラピー・ウォーキング教室

- ◎日時 9月28日(水) 10時～12時10分
(受付:9時40分から)
- ◎場所 愛鳥林広場
※雨天時は、徳地体育館
- ◎内容 ・森林セラピー基地をウォーキング
『健康に効果的な歩き方』
・森の癒し効果でリラックス
『森林セラピー体験』
※晴天時、愛鳥林エリア(約2km)を歩きます。
- ◎対象 市民20名程度 *先着順・要申込
- ◎講師 ・澄川絵里奈氏(健康運動指導士)
・森の案内人3名
- ◎料金 50円(保険料)
- ◎持参品等 飲み物、汗拭き用タオル、マスク、歩きやすい服装と靴
※雨天時は、室内用シューズ

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、中止する場合があります。ご了承ください。

申込先

9月21日(水)までに、徳地総合支所総合サービス課
健康づくり担当 ☎52-1114へ

山口市徳地フェスティバル2022 を開催します

コロナ禍により2年間中止となっておりましたが、地域の皆様のご協力と開催への強いご要望を賜り、11月6日(日)に開催することを決定いたしました。詳細については、10月頃にチラシ等でお知らせいたします。

開催にあたりましては、関係各所と協力しながら、徹底した感染症対策や実施形態の検討等をしております。また感染拡大の状況等によっては開催中止とする場合もございます。

ご来場のお客様や関係者の皆様にはご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

問合せ先

山口市徳地フェスティバル2022 実行委員会事務局
徳地地域づくり協議会 ☎52-0217

行事カレンダー

(8月15日～9月14日)

8月	17	認知症家族会 (やすらぎの会) (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	28	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング (問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
9月	1	健康相談 (徳地保健センター) (問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114
	11	森林浴とおなかいっぱいピクニックツアー (問) 森林セラピー山口 ☎56-5234
	13	憩いステーションとくち (徳地保健センター) (問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832
	14	育児相談 母乳相談、ブックスタート併設 (徳地保健センター) (問) 総合サービス課健康づくり担当 ☎52-1114

◆◇図書館だより◆◇ ☎52-0043

【新しく入った資料】

◎文学	星屑／村山 由佳
◎一般書	日本の絶滅危惧知識／吉川 さやか, 新谷 尚紀
◎実用書	るるぶ奈良 '23
◎ティーンズ	化学技術者・研究者になるには／堀川 晃菜
◎物語・児童書	のぞく図鑑穴／宮田 珠己
◎絵本	ひでよーし／丸山 誠司
◎紙芝居	曾根崎心中／近松 門左衛門, サワジロウ

【企画展示】

◎今月のテーマ	時代小説、読んでみませんか
◎絵本	夏休みバンザイ!
◎一般	夏に美味しく。
◎児童・ティーンズ	わくわくドキドキ 大冒険!

【お知らせ】

“好きなおはなしの絵”の展示

展示期間：7月29日(金)～8月24日(水)

展示場所：山口市立徳地図書館 視聴覚室

休 図書館 8月/15・22・25・29
休館日 9月/5・12

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 8月19日(金) たんじょう会
- 8月25日(木) めぐみ先生の簡単レシピ
- 9月8日(木) 楽しく食育

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 8月24日(水) 水遊び プール遊び
 - 9月14日(金) マットで運動遊び なわあそび
- 両日とも園庭開放しております。

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)

防府市休日診療所(鞆生町)☎0835-24-4172

【歯科】(受付 8:30～11:30)

防府市休日診療所(鞆生町)☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)

8月15日(月)	三田尻病院(お茶屋町)	☎22-1110
16日(火)	松本外科病院(天神)	☎22-1409
21日(日)	松本クリニック(国衛)	☎25-2522
28日(日)	防府整形・リハビリクリニック(新田)	☎25-1060
9月4日(日)	光山医院(今市町)	☎22-1361
11日(日)	防府胃腸病院(駅南町)	☎22-3339

【夜間救急病院】(平日、休日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	8月・9月の開設日						
三田尻病院(鞆町) ☎22-1110		15	20	25	30	4	9	14
松本外科病院(天神) ☎22-1409		16	21	26	31	5	10	
防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339		17	22	27	1	6	11	
桑陽病院(車塚町) ☎23-1781		18	23	28	2	7	12	
緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145		19	24	29	3	8	13	

総合支所情報局



選手宣誓は出雲分団の黒木団員が務めました

7月3日(日)、令和4年度山口市消防団消防操法大会が山口県消防学校で開催されました。

3年ぶりとなった大会は、市内の全33分団のうち、代表16分団で行われ、徳地地域からは出雲分団と島地分団が出場し、日頃の練習の成果を競いました。

【消防操法とは】

基本的な消防活動の習得を目指すための手順で、定められた設定の中、消防ポンプ・ホースなどの操作を、早く正確に行うことはもとより、火点(まと)にめがけて放水するまでの「動きの節度」を競うものです。



競技中の出雲分団



競技中の島地分団

上記の行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、中止又は延期となる場合があります。詳しくは上記各行事の問合せ先にご確認ください。

徳地のバス停探訪



立石下（藤木）

徳地に来る前は、家の近くにあるバス停も、ポストも、どこにあるのかすら覚えていませんでしたが、徳地にあるバス停やポストはなぜか心に残っていて、ここにもあるんだと思わず探してしまいます。

そんな人間が作ったアナログな仕組みを見ると、自然の中に住まわせてもらっていることを改めて感じます。

同じ藤木地区にある小河内バス停は、古い建物がごみ収集所とバス停の役割を果たしていて、バス停の看板は、建物に取り付けてありました。当初は別の目的で建てられた建物も、自然と共存する中で役割を変えて、存在しているのかなとか思ったりしています。

人が生活するうえでなくてはならないものと、ありのままの自然の風景のバランスがすごく心地よくて、また新しい景色を見つけることが楽しみです。（河上特派員）

写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくち」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取り、アドレス入力してメールできます



ふるさとへの軌跡

徳地と東大寺再建

～徳地から始まる「材木の道」～

(5) 徳地の材木が日中交流の架け橋になった

徳地の材木は、東大寺再建以前から有用材として有名で、国内だけでなく、国外にも流通し、使用されていたと考えられています。それはどういうことでしょうか。

1167年に入宋した重源は、阿育王寺舍利殿の新造を請け負って帰国し、後白河法皇に働きかけて周防の材木を送ったとされています。そのことを、彼の事績を自ら綴った『南無阿弥陀仏作善集』に「大唐明州・阿育王山に周防国の御材木を渡し、舍利殿を起立したてまつる。修理のため、また柱四本・虹梁一支を渡したてまつる」と書き記しています。

平安末期、平氏による日宋貿易が盛んに行われ、宋商人が住みつき、チャイナタウンを形成していた博多から、中国南宋の寧波に向けて「大洋路」と呼ばれる海上交通路が伸びていました。このころの入宋僧は平氏・後白河院と少なからず関わりのある人が多く、重源の入宋自体も後白河法皇の支援を受けたものと考えられています。いわばパトロンがいたということですね。



日宋貿易（「中学歴史 日本と世界」：山川&二宮書店）より

当時の日宋貿易の日本からの主要な輸出品の1つは材木でした。従って、重源の活動はまさに「大洋路」とよばれる日宋貿易のルートを介して行われた国際的な材木の寄進行為であったといえます。（東大寺再建以前、徳地の材木が海外に?!）

重源はなぜ周防の材木を寄進したのでしょうか。実は、承安二年（1171）頃から始まった博多誓願寺の本尊を造る時、重源は周防の材木を呼び、多量の材木を調達しています。この材木が阿育王寺の新造に寄進され、その余材で誓願寺の本尊が造られたのではないかと考えられているからです。さらに当時、周防国が後白河法皇の知行国（法皇が支配し、収益を得ている国）であったことも大きな要因であったといえるでしょう。

周防国の材木とは、重源が東大寺再建にあたり、いち早く徳地の材木に注目していたことから、徳地の材木に違いありません。重源による材木寄進事業は、東大寺再建前から行われ、しかも日中を結ぶ国際交流事業として行われていたと考えると、徳地の材木は日中交流の架け橋となっていたということですね！

（執筆：吉松 桂二）